

公益社団法人 日本実験動物学会 功労賞 受賞者					
令和 8 年	該当なし				
令和 7 年	安居院高志				
令和 6 年	落合 敏秋	山田 靖子			
令和 5 年	喜多 正和	高倉 彰			
令和 4 年	大和田一雄	局 博一	松本 清司		
令和 3 年	浦野 徹	八神 健一			
令和 2 年	岩倉洋一郎	黒澤 努			
令和元年	伊藤喜久治	小幡 裕一	芹川 忠夫		
平成 30 年一	伊藤豊志雄	笠井 憲雪			
平成 29 年	鈴木 照雄	米川 博通			
平成 28 年	須藤カツ子	吉川 泰弘			
平成 27 年	関口富士男				
平成 26 年	鍵山 直子	高木 博義	土井 邦雄		
平成 25 年	佐藤 浩				
平成 24 年	朱宮 正剛	西村 正彦			
平成 23 年	玉置 憲一				
平成 22 年	倉林 譲				
平成 21 年	豊田 裕				
平成 20 年	長 文昭				
平成 19 年	佐藤 徳光	辻 紘一郎	武藤 健		
平成 18 年	山内 一也				
平成 17 年	前島 一淑	降矢 強			
平成 16 年	森脇 和郎	早川純一郎	江崎孝三郎	宮畠 宏彰	
平成 15 年	松下 宏	中村 経紀	波岡 茂郎	長澤 弘	高垣 善男
平成 14 年	奥木 実	堀内 茂友	光岡 知足	福井 正信	
平成 13 年	富永 聡	半田 純雄	信永 利馬		
平成 12 年	猪 貴義	中野 健司	本庄 重男		
平成 11 年	興水 馨	仲川 憲一	山之内孝尚		
平成 10 年	佐藤 善一	藤原 公策			
平成 9 年	田中 利男				
平成 8 年	今道 友則				
平成 7 年	該当なし				
平成 6 年	山内 忠平				

公益社団法人 日本実験動物学会 安東・田嶋賞	
令和 8 年	高橋 英機
令和 7 年	該当なし
令和 6 年	真下 知士
令和 5 年	久和 茂
令和 4 年	庫本 高志
令和 3 年	伊川 正人
令和 2 年	高橋 智
令和元年	浅野 雅秀
平成 30 年一	中潟 直己
平成 29 年	佐々木 えりか
平成 28 年	小倉 淳郎
平成 27 年	伊藤 守
平成 26 年	山村 研一
平成 25 年	岡部 勝 芹川 忠夫
平成 24 年	岩倉 洋一郎
平成 23 年	該当なし
平成 22 年	鳥居 隆三
平成 21 年	松本 耕三
平成 20 年	該当なし
平成 19 年	伊藤 豊志雄
平成 18 年	米川 博通
平成 17 年	国枝 哲夫
平成 16 年	該当なし
平成 15 年	該当なし
平成 14 年	樋野 興夫
平成 13 年	横山 峯介
平成 12 年	水谷 誠
平成 11 年	牧野 進
平成 10 年	該当なし
平成 9 年	西村 正彦

公益社団法人 日本実験動物学会 奨励賞		
令和8年	田中 美有	村田 知弥
令和7年	中野 堅太	塚本 晃海
令和6年	渡邊 正輝	
令和5年	吉沢 隆浩	
令和4年	M.J.M.Desamero	村山 正承
令和3年	佐々木 隼人	
令和2年	奥村 和弘	倉岡 睦季
令和元年	井上 貴史	宮田 治彦
平成30年	濱田 理人	和田 健太
平成29年	長谷川 賀一	藤原 祥高
平成28年	水野 聖哉	
平成27年	吉見 一人	香月 康宏
平成26年	金子 武人	小池 智也
平成25年	成瀬 智恵	新美 君枝
平成24年	竹尾 透	
平成23年	本多 新	高林 秀次
平成22年	高田 豊行	橋本 晴夫
平成21年	越後貫 成美	林元 展人
平成20年	該当なし	
平成19年	該当なし	
平成18年	権 仲基	高橋 英機
平成17年	大野 民生	
平成16年	吉川 欣亮	真下 知士
平成15年	設楽 浩志	横井 伯英
平成14年	庫本 高志	
平成13年	北田 一博	高橋 利一
平成12年	平澤 健介	森 政之
平成11年	伊川 正人	小倉 淳郎
平成10年	山海 直	
平成9年	平山 和宏	
平成8年	杉山 文博	
平成7年	清澤 岩水	木村 透
平成6年	中潟 直己	

公益社団法人 日本実験動物学会 学会賞 (若手研究者対象, 平成5年表彰後終了)	
平成5年	近藤 靖
平成4年	山崎 寛治
平成4年	海老野 耕一
平成3年	芹川 忠夫
平成2年	鍵山 直子(代)
平成2年	松本 清司
昭和63年	伊藤 喜久治

Experimental Animals 最優秀論文賞

2025 年

金子 結、保田昌彦、小牧裕司、小倉智幸、高橋利一、山本真史

[Identification of gene mutations associated with the phenotype of short-limb mice emerging from a foundation colony of severely immunodeficient mice](#)

「重度免疫不全マウスのコロニーから出現した短肢マウスの原因遺伝子の同定」

中川達哉、江森千紘、伊川正人

[Trophectoderm-specific gene manipulation using adeno-associated viral vectors](#)

「アデノ随伴ウイルスベクターを用いた栄養外胚葉特異的遺伝子導入」

浅井健宏、栃内亮太、水流功春、関口茉莉恵、南 篤、藤井 渉、久和 茂、小川哲弘、角田 茂

[Loss of non-canonical translation initiation factors impairs perinatal cardiac function in mice](#)

「非古典的翻訳開始因子の欠損によりマウスの周産期における心臓機能が減弱する」

2024 年

栃内亮太、木村公一、雑賀 彪、藤井 渉、森田啓行、中西弘毅、水流功春、関澤信一、山内啓太郎、桑原正貴

[Ivabradine ameliorates cardiomyopathy progression in a Duchenne muscular dystrophy model rat](#)

「イバブラジンはデュシェンヌ型筋ジストロフィーモデルラットにおける心筋症の進行を抑制する」

進導美幸、寺尾美穂、高田修治、一ノ瀬実、松坂恵美、横井 匡、東 範行、水野聖哉、津村秀樹

[Establishment and visual analysis of CBA/J-*Pde6b*^{Y347Y/Y347X} and C3H/HeJ-*Pde6b*^{Y347Y/Y347X} mice](#)

「CBA/J-*Pde6b*^{Y347Y/Y347X} マウスと C3H/HeJ-*Pde6b*^{Y347Y/Y347X} マウスの樹立と視覚解析」

渡邊正輝、二階堂優子、佐々木宣哉

[Validation of the anesthetic effect of a mixture of remimazolam, medetomidine, and butorphanol in three mouse strains](#)

「レミマゾラムベシル塩酸を含むマウス用三種混合バランス麻酔薬の評価」

2023 年

藤井 颯、中田雄太、加藤容子

[Rescue of oocytes recovered from postmortem mouse ovaries](#)

「死亡マウスから回収した卵子の生存性向上に関する検討」

森 政之、代 健、宮原大貴、李 瑩、亢 暁静、吉見一人、真下知士、樋口京一、松本清司

[Cyba and Nox2 mutant rats show different incidences of eosinophilia in the genetic background- and sex-dependent manner](#)

「*Cyba* と *Nox2* 変異ラットは遺伝的背景および性別に依存した異なる好酸球増多症の発症率を示す」

何 裕遙、伊藤亮治、野津量子、富山香代、植野昌未、小倉智幸、高橋利一

[Establishment of a human microbiome- and immune system-reconstituted dualhumanized mouse model](#)

「ヒト微生物叢と免疫系を再構築したデュアルヒト化マウスモデルの確立」

2022 年

大野民生、宮坂勇輝、吉田勘太、小林美里、堀尾文彦、横井伯英、水野正司、池上博司

[A novel model mouse for type 2 diabetes mellitus with early onset and persistent hyperglycemia](#)

「早期発症し持続的高血糖を示す新たな 2 型糖尿病モデルマウス」

川上浩平、松尾裕之、梶谷尚世、山田高也、松本健一

[Comparison of survival rates in four inbred mouse strains under different housing conditions: effects of environmental enrichment](#)

「4 系統の近交系マウスにおける異なる居住条件下での生存率の比較：環境エンリッチメントの影響」

マクシェヴァ ユリア、鄭 琇絢、秋津 葵、前田菜摘、丸橋拓海、葉 暁琪、海部知則、西城 忍、孫 海陽、韓 偉、唐 策、岩倉洋一郎

[The C-type lectin receptor Clec1A plays an important role in the development of experimental autoimmune encephalomyelitis by enhancing antigen presenting ability of dendritic cells and inducing inflammatory cytokine IL-17](#)

「C 型レクチン受容体 Clec1A は、樹状細胞の抗原提示能を高めるとともに炎症性サイトカイン IL-17 を誘導することにより、実験的自己免疫性脳脊髄炎の発症に重要な役割を果たしている」

2021 年

今井 啓之、津田 宗一郎、岩森 督子、加納 聖、日下部 健、小野 悦郎

[Establishment of a novel method for the production of chimeric mouse embryos using water-in-oil droplets](#)

「オイルドロップレットを用いたマウスキメラ胚の作出法の確立」

2020 年

菅沼栄介、佐藤 智、本田聡子、中澤温子

[A novel mouse model of coronary stenosis mimicking Kawasaki disease induced by *Lactobacillus casei* cell](#)

[wall extract](#)

「Lactobacillus casei cell wall extract により誘導した川崎病冠動脈狭窄の新規モデルマウス」

2019 年

橋本晴夫、江藤智生、山本真史、位高美香、後藤元人、香川貴洋、小島圭介、川井健司、秋元敏雄、高橋利一

[Development of blastocyst complementation technology without contributions to gametes and the brain](#)

「生殖細胞および大脳に寄与しない胚盤胞補完法技術の確立」

2018 年

秋山健太郎、蕨 栄治、岡田浩介、柳川 徹、石井哲郎、巨瀬勝美、徳重克年、石毛和紀、溝上裕士、山縣憲司、鬼澤浩司郎、有泉俊一、山本雅一、正田純一

[Deletion of both p62 and Nrf2 spontaneously results in the development of nonalcoholic steatohepatitis](#)

「p62:Nrf2 二重欠損マウスは非アルコール性脂肪性肝炎を自然発症する」

2017 年

高橋 剛、長谷川清香、福富友紀子、原田千鴻、古郡真宗、関 優太、吉川欣亮、和田健太

[A novel missense mutation of Mip causes semi-dominant cataracts in the Nat mouse](#)

「Nat マウスの半優性白内障を引き起こす Mip の新規ミスセンス変異」

2016 年

西谷あい、田中美有、清水佐紀、國澤直史、横江繭子、吉田裕作、鈴木登志郎、佐久間哲史、山本 卓、桑村 充、竹中重雄、大野行弘、庫本高志

[Involvement of aspartoacylase in tremor expression in rats](#)

「アスパルトアシラーゼ遺伝子は本態性振戦の発症に関与する」

2015 年

本多 新、廣瀬美智子、山海 直、ヤスミン ルブナ、湯澤和明、本勝希実子、伊豆美奈、井口 純、伊川正人、小倉淳郎

[Single-step generation of rabbits carrying a target allele of the tyrosinase gene using CRISPR/Cas9](#)

「CRISPR/Cas9 を用いた簡便なウサギチロシナーゼ遺伝子の破壊」

2014 年

秋津 葵、角田 茂、西城 忍、岩倉洋一郎

2013 年

宮坂勇輝、鈴木沙理、大芝泰弘、渡部 桂、相良嘉彦、安田俊平、松岡邦枝、設楽浩志、米川博通、木南 凌、吉川欣亮

2012 年

関口有佳里、大和田淳也、大石久史、勝又斗紀夫、池田香理、工藤 崇、高橋 智

2011 年

庫本高志、桑村 充、田上 史、真下知士、能勢真人、芹川忠夫

奥村 仁、宮坂勇輝、森田由香、野村智幸、三嶋行雄、高橋 姿、木南 凌

2010 年

石飛博之、松本 健、浅見拓哉、伊東史子、伊東 進、高橋 智、依馬正次

2009 年

目加田和之、阿部訓也、村上亜弓、中村哲枝、中田初美、森脇和郎、小幡裕一、吉木 淳

2008 年

松井謙一、太田 毅、小田知洋、笹瀬智彦、上田順久、美谷島克宏、益山 拓、篠原雅巳、 松下睦佳

2007 年

森 政之、澤下仁子、樋口京一

2006 年

藤本和則、小石龍太、清水川哲也、安藤洋介

2005 年

稲垣秀晃、桑原正貴、局 博一

2004 年

野口 章、竹川奈穂、Thorbjorg Einarsdottir、 小浦美奈子、 野口洋子、 高野 薫、 山本美江、
松田潤一郎、鈴木 治

2003 年

横井伯英、生江美佐子、布施雅規、王 賀謠、米田嘉重郎

2002 年

古澤昌士、桑原正貴、石井圭司、岩倉洋一郎、局 博一

2001 年

山田宜永、三宅 武、杉浦賢吉、成田 暁、Kaichun WEI、 Suwen WEI、 Daniel H. MORALEJO、
荻布智恵、Claude GAILLARD、 佐々木義之、 松本耕三

2000 年

吉野直人、網 康至、寺尾恵治、田代文夫、本多三男

1999 年

鈴木 亘、飯塚生一、田淵雅宏、布野秀二、柳澤利彦、木村正幸、佐藤俊次、遠藤 徹、 川村秀樹

1998 年

成島聖子、伊藤喜久治、光岡知足、中山裕之、伊藤豊志雄、日置恭司、野村達次

総会 優秀発表賞

第 73 回総会 優秀発表賞

「塩基編集技術を基盤とした新規多重遺伝子ノックアウトマウス作成法の確立」

○鈴木 颯 1)、西村 瑞稀 2)、増田 百香 2)、三上 夏輝 3)、久野 朗広 1)、水野 聖哉 1)

1) 筑波大学医学医療系生命科学動物資源センター、2)筑波大学・院フロンティア医科学学位プログラム、3) 筑波大学・院ヒューマンバイオロジー学位プログラム

「ゲノム編集を用いたマイクロインジェクションによるノックインハムスターの作製」

○繁田 麻葉 1)、井上 健一 1)、島田 奈浦子 1)、戸部 有紗 1,2)、阿部 高也 1)、清成 寛 1)

1) 理化学研究所、2)京都大学野生動物研究センター

「高解像度腸内細菌叢解析が明らかにしたマウス腸内細菌のゲノムレベル同期ダイナミクス」

○黒川 李奈 1)、増川 理恵 2)、荒川 武蔵 2)、増岡 弘晃 1)、吉川 優 2)、Tanzila Raihan2)、高安 秀樹 1,2)、高安 伶奈 1,3)、高安 美佐子 2)、須田 互 1)

1) 理化学研究所、2)東京科学大学、3)Meinig School of Biomedical Engineering, Cornell University

第 72 回総会 優秀発表賞

「2 段階 ES 細胞ゲノム編集による遺伝子全長ヒト化マウス作製法の開発」

○田口純平 1、伊川正人 1,2、小沢 学 1

1. 東京大学医科学研究所、2. 大阪大学微生物病研究所

「心臓を標的とした迅速 cKO 法による RNA 結合タンパク質群の機能解析」

○三上夏輝 1、小山 隼 2、村田知弥 3、杉山文博 4、水野聖哉 4

1. 筑波大学人間総合科学研究群ヒューマンバイオロジー学位プログラム、2. 筑波大学人間総合科学研究 群フロンティア医科学学位プログラム、3. 岐阜大学高等研究院 COMIT、4. 筑波大学医学医療系生命科学 動物資源センター

「異種移植用ドナー臓器 「ヒト-ブタハイブリッド腎臓」 を実現するノックインブタの作出」

○野口光央 1、谷原史倫 1、向田風沙 2、山中修一郎 2、稲毛由佳 2、原 弘真 1、井上 誠 1,3、花園 豊 1、横尾 隆 2、本多 新 1

1. 自治医科大学、2. 東京慈恵会医科大学、3. 住友ファーマ株式会社

第 71 回総会 優秀発表賞

「造血幹細胞の生着を許容する新規 Kit 変異ラット」

○飯田龍哉 1)、石田紗恵子 1)、Jinxi Wang 1)、服部晃佑 1)、吉見一人 1,2)、山崎 聡 3,4)、真下知士 1,2)

1) 東京大学医科学研究所実験動物研究施設先進動物ゲノム研究分野、2) 東京大学医科学研究所システム疾患モデル研究センターゲノム編集研究分野、3) 東京大学医科学研究所システム疾患モデル研究センター細胞制御研究分野、4) 筑波大学医学医療系幹細胞治療研究室

「細胞競合と胎仔発生環境を用いた完全な移植用皮膚片の作成」

○水野直彬 1,2)、長野寿人 2,3)、佐藤秀征 2)、水谷英二 2,4)、柳田絢加 2,5)、加納麻弓子 2,6)、笠井真理子 2)、山本祐美 2)、渡部素生 2)、サッチー ファビアン 7)、正木英樹 2)、金井正美 1)、中内啓光 2,7)

1) 東京医科歯科大学実験動物センター疾患モデル動物解析学、2) 東京医科歯科大学幹細胞治療研究室、3) 防衛医科大学校形成外科、4) 筑波大学幹細胞治療研究室、5) 東京大学農学部獣医解剖学、6) 聖マリアンナ医科大学代謝・内分泌内科学、7) スタンフォード大学幹細胞生物・再生医療学

「染色体工学技術を用いたヒト抗体重鎖・ λ 軽鎖遺伝子全長を保持する完全ヒト抗体産生マウスの開発」

○下谷和人 1)、馬場重典 2)、森脇崇史 1,2)、阿部智志 3)、岡田 茜 3)、香月加奈子 3)、香月康宏 1-4)

1) 鳥取大学大学院医学系研究科染色体医工学講座、2) 鳥取大学医学部生命科学科染色体医工学講座、3) 鳥取大学染色体工学研究センター、4) 自然科学研究機構生命創成探究センター (ExCELLS) 染色体工学研究グループ

第 70 回総会 優秀発表賞

「疑似着床培養コモンマーモセット胚の解析」

○岸本恵子 1)、ペンフォールド クリストファー 2)、上岡美智子 1)、フー ファイユ 3)、ボロビアーク ソーステン 2)、佐々木えりか 1)

1) 実中研、2) ケンブリッジ大学、3) アップステイト医科大学

「In vivo ゲノム編集による子宮内膜がんモデルマウスの迅速作製」

○小林良祐 1)、川端麗香 2)、杉山真言 3)、小山徹也 4)、大塚正人 5)、堀居拓郎 1)、森田純代 1)、西山正彦 2)、畑田出穂 1)

1) 群馬大学生体調節研究所ゲノム科学リソース分野、2) 群馬大学未来先端研究機構、3) 北里大学獣医学部、4) 群馬大学医学系研究科、5) 東海大学医学部

「常染色体優性多発性嚢胞腎（ADPKD）モデルカニクイザルのヒト疾患モデルとしての有用性」

○松本翔馬 1)、 守村敏史 1)、 森重悦子 2)、 沼田洋輔 2)、 依馬正次 1)

1) 滋賀医科大学動物生命科学研究センター、2) 株式会社新日本科学

「経胎盤移植によって移植されたヒト臍前駆細胞は臍欠損マウスの生存に寄与する」

○脇本 新 1,2)、 全 孝静 3)、 野田篤志 2)、 廖 晋緯 1,2)、 林 洋平 4)、 濱田理人 2)、 高橋 智 2)

1) 筑波大学グローバル教育院ヒューマンバイオロジー学位プログラム、2) 筑波大学医学医療系解剖学発生学研究室、3) 筑波大学医学医療系幹細胞治療研究室、4) 理研バイオリソースセンター

第 69 回総会 優秀発表賞

「ARMC12 は TBC1D21 と協働してミトコンドリア鞘形成を可能にする」

○嶋田 圭祐 1、 Park Soojin1、 宮田 治彦 1、 Zhifeng Yu2、 諸星 茜 1、 大浦 聖矢 1、 Martin M. Matzuk2、 伊川 正人 1

1 大阪大学 微生物病研究所、2 ベイラー医科大学

「in vivo BioID の確立と新規うつ様行動制御因子の同定」

村田 知弥 1、 大徳 陽子 2、 水野 聖哉 1、 杉山 文博 1

1 筑波大学医学医療系、2 筑波大学生命科学動物資源センター

「ゲノム編集による遺伝子改変有袋類の作製」

吉見 理子 1、 金子 麻里 1、 阿部 高也 1、 白石 亜紀 1、 井上 健一 1、 古田 泰秀 1,2、 清成 寛 1

1 国立研究開発法人理化学研究所 生命機能科学研究センター 生体モデル開発チーム、2 Mouse Genetics Core Facility, Sloan Kettering Institute, Memorial Sloan Kettering Cancer Center